

災 アルミ保温シート300枚を市へ寄付 害対策に役立ててほしい

2月7日（木） 市長室

飛騨農業協同組合から市へ大規模災害時の備蓄品として「アルミ保温シート」300枚を寄付していただきました。

この日は、同組合の駒屋廣行組合長が市長室を訪れ、「軽くて扱いやすく、断熱効果も優れています。地震や豪雨などの災害対策に役立ててほしいです」と話し、都竹市長に保温シートと目録を手渡しました。

都竹市長は「災害備蓄品強化を図っている最中で、大変ありがたいです」とお礼を述べました。



目録と保温シートを手にする駒屋組合長と都竹市長

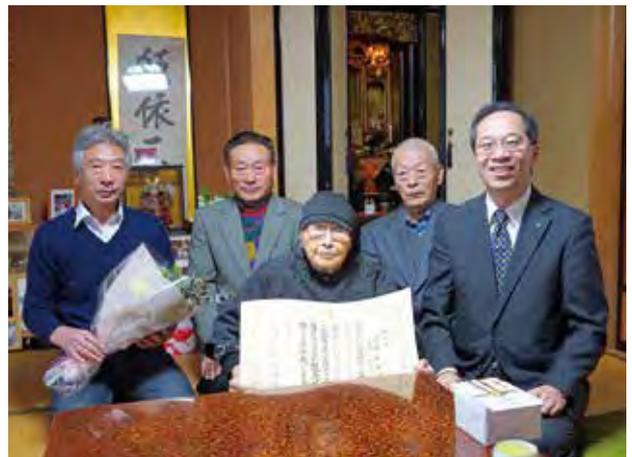
百 藤田チカさん百歳褒賞 歳おめでとうございます

2月6日（水） 神岡町釜崎

神岡町釜崎の藤田チカさんが百歳を迎えられました。これに合わせ、都竹市長や市民福祉部の柚原部長らが自宅へ訪問しお祝いしました。

都竹市長が「百歳おめでとうございます。藤田さんの元気な姿や笑顔を見ると、こちらが元気をもらえます。これからも元気に過ごしてください」と声をかけながら、賞状やお祝いの花束などを手渡しました。

ご家族は「元気で病気も無く、健康でいてくれるのでとてもありがたいです」と話していました。



賞状を手記念撮影

地 YCKプロジェクト報告会2018 域を舞台にした取り組みの成果を報告

2月8日（金） 飛騨市文化交流センター

吉城高等学校の高校生が行うYCK（吉高地域キラメキ）プロジェクト報告会が8日、飛騨市文化交流センターで開かれ、吉城高校生、古川中学校生徒や市民ら約700人が参加しました。

同プロジェクトは、課題解決能力を身に付けた、たくましい人材づくりを目指し、35個のプログラムで地域課題に取り組んできました。

報告会では、同プロジェクトの概要説明やリーダー活動・課外活動などについて生徒たちが報告しました。

また、全国の事例紹介や講演も行われました。



生徒によるプロジェクト発表

長 岡村正昭さん瑞宝双光章受章 年の功労をたたえる

2月6日（水） 古川町増島町

古川町の岡村正昭さんが瑞宝双光章を受賞されました。これに合わせ、都竹市長が自宅を訪問し叙勲の伝達を行いました。

この叙勲は、永きにわたり教育業務に従事され、着実な教育実践に務め、教育振興に多大な貢献をされたことに對し贈られました。

岡村さんは「こんな立派な叙勲をいただいたので、心身ともにより健全に生きていきたいです。この叙勲に負けないよう頑張っていきたいです」と話していました。



授与記と勲章を手にする岡村さん（右）

豪 飛騨市消防団が国と県から表彰 雨災害の水防活動が表彰される

2月18日（月） 市長室

飛騨市消防団が「水防功労者国土交通大臣表彰」と「岐阜県水防表彰」を受賞し、この功績を都竹市長に報告しました。

市消防団は平成30年7月の豪雨災害で、延べ1,336人の消防団員が土のう積み工を用いた水防活動や河川等の警戒巡視、住民の避難誘導を行い、人命確保と被害の軽減に貢献したことから表彰されました。

この日は、市消防団の蒲義博団長が市長室を訪れ、都竹市長に受賞を報告しました。

蒲団長は「災害はいつ起こるか分からない。これからも消防団一丸となって頑張っていきたい」と話しました。



賞状を手にする蒲団長（中央）

飛 飛騨吉城特別支援学校でハンドボール教室 髙山ブラックブルズ岐阜と交流を深める

2月12日（火） 飛騨吉城特別支援学校

日本ハンドボールリーグ所属の女子クラブチーム「飛騨髙山ブラックブルズ岐阜」によるハンドボール教室が12日、飛騨吉城特別支援学校で開かれ、同校の児童生徒ら29人と交流を深めました。

この日学校に訪れたのは、同チームの山川由加監督、金恩恵主将、宮崎亜紀穂選手、佐伯綾香選手、田口舞選手の5人で、みんなでパスやジャンプシュート、ミニゲームなどを楽しみました。

ミニゲームでは、それぞれみんなが考え出した作戦でパスをしながらシュートするなど、真剣な表情をしながらもみんな楽しくミニゲームをしました。



パスの練習をする児童

新 クアオルト健康ウォーキング 規ガイド6人へ認定証を交付

2月18日（月） 市役所

市が推進する「クアオルト健康ウォーキング」の新規実践指導者（ガイド）認定証交付が18日、市役所で行われました。

クアオルト健康ウォーキングは、心拍数や体表面温度を適切に管理しながら無理なく歩いて健康作りを行う「気候性地形療法」で、市では事業の充実を図るため、今年度新たに6人のガイドを養成しました。

この日は、都竹市長立ち会いの下、(株)日本クアオルト研究所の大城孝幸社長から新規ガイドの田中博さん、沖野久子さん、戸田たつきさんの3人に認定証とガイドの腕章を手渡しました。



認定証を手にする新規ガイドら

住 第29回みやがわ親雪まつり 民らが雪を楽しむ

2月16日（土） 宮川町 飛騨まんが王国

飛騨まんが王国で「第29回みやがわ親雪まつり」が行われ、地域住民らが雪遊びや冬の打ち上げ花火などを楽しみました。

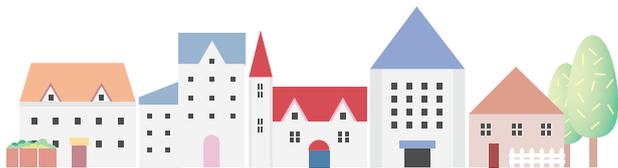
親雪まつりは、寒い冬やたくさんの雪を楽しもうと、地元の有志らでつくる実行委員会が主催で毎年開催されています。

会場では、スノーモービルの乗車体験やスノーストラックアウトなどのアトラクションのほか、バンド演奏や北辰若連中による獅子舞が披露されました。

夜には、約800発の打ち上げ花火が冬の夜空を鮮やかに彩りました。



バンド演奏を披露する地元の青年ら



に 第63回飛騨神岡初金毘羅宵祭 ぎやかな創作山車が町内を練り歩く

2月23日(土) 神岡町市街地

真冬の熱い祭り「第63回飛騨神岡初金毘羅宵祭」が23日、神岡町市街地で開かれ、にぎやかな創作山車が町内を練り歩きました。

日中には、特設ステージで双葉保育園児によるダンスやよさこい演奏などが披露されました。また、神岡町の「立ちだるま」からアメリカの「自由の女神」に送る恋の短歌を詠んだコンクールの表彰式なども行われました。

夕方からの行列は、神岡江戸木遣り保存会をはじめ、地元企業や同級会など16社中が参加し、自由の女神や宝船など趣向を凝らした山車や神輿曳きながら約1キロメートルの距離を練り歩きました。



町内を練り歩く社中

I KDDI(株)と地域活性化に関する連携協定を締結 ICTを活用し課題解決に取り組む

2月21日(木) 市役所

市とKDDI(株)の間で地域活性化を目的とした協定締結式が21日、市役所で行われました。

この協定は、KDDI(株)が保有するICT(情報通信技術)を活用し、市の抱える課題を解決するための取り組みを協働で検討し、地域の活性化を図るものです。

この日は、同社理事で中部総支社長の渡辺道治氏と都竹市長が出席し、それぞれ署名を行った後、連携協定書を取り交わしました。

都竹市長は「これを機にKDDIさんのさまざまなノウハウやスキルと地域課題と組み合わせ、新しい企業連携の地方創生のモデルとして行いたい」とあいさつしました。



協定書を手にする渡辺総支社長(右)

ひ 企業版ふるさと納税を活用し飛騨市へ寄付 だ宇宙科学館カミオカラボがまもなくオープン

企業から企業版ふるさと納税を活用した寄付をいただきました。

この寄付は、地方創生の取り組みの一環として、民間企業が積極的な寄付を行える仕組み「地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)」を活用したもので、市が進めている飛騨宇宙最先端科学パーク構想推進事業(宇宙物理学研究施設「ひだ宇宙科学館カミオカラボ」)の整備財源に充てられます。

また、ひだ宇宙科学館カミオカラボは3月27日(水)にオープンし、施設内には寄付をいただいた企業の名前を入れたプレートが掲示される予定です。

柏木工(株) 寄付額100万円

2月12日(火) 市役所

関道朗社長は「この取り組みを大きな観光資源として活用いただき、新たな観光資源の開発につなげていただきたいと思います」とあいさつしました。



感謝状を手にする関社長(右)

清水商事(株) 寄付額350万円 (株)喜多村 寄付額300万円 (飛騨生コンクリート(株)を含む金額)

2月21日(火) 市役所

三輪義弘社長は「寄付によって宇宙物理学等の研究の発展や、完成する新しい施設にたくさんの人を集め、地域が栄えていってほしいと思います」とあいさつしました。



感謝状を手にする三輪社長(右)

2月26日(火) 市役所

北村眞行代表は「地域の皆さんへの貢献が直接的にできることは良い制度だと思います。将来にわたりこのような機会があればぜひ参加をさせていただきます」とあいさつしました。



感謝状を手にする北村代表(右)